

大会レポート

ファミリーマートカップ

第34回全日本バレーボール小学生大会千葉県大会

決勝大会のレポートです！！

例年、男子二次予選、女子1日目が終了してから2週間開けて県大会を開催していましたが、今年は体育館確保の関係から1週後のベスト8の戦いとなりました。昨年はエキシビションとして開催された男女混合の部でしたが、今年から全国大会初となる混合の部には3チームが参加して開催されました。



6月15日(日)の女子1日目を勝ち上がったシードの大穴、鎌ヶ谷中部など8チームが、22日(日)の決勝トーナメント進み、男子は二次予選を勝ち抜いた丸山、四街道など8チームと男女混合の3チームが集まって、4コートを使ってそれぞれ全国大会への出場を目指して熱戦を展開してくれました。

女子は、1日目それぞれシードチームの大穴、鎌ヶ谷中部、大津ヶ丘、塚田がベスト8に残り、また支部予選で勝ち抜いた千葉中央、丸山、君津、坪井の計8チームが決勝トーナメントに進みました。シードチームは大穴を除きいずれも接戦を落す結果となり、



準決勝は新人戦でも顔合わせのあった大穴、坪井が対戦し、坪井もレシーブで粘りましたが、大穴エースの強打が次々と決まって船橋決勝は大穴が制しました。またもう一つの戦いはシードチームを打ち破った丸山と君津の戦いとなり、君津はエースの強打で得点を重ねるも丸山の軟攻を交えた攻撃に軍配が上がり、丸山が決勝にコマを進めました。続く決勝はいずれも初優勝を目指して、火ぶたが切られ、1セット目は一進一退の接戦が続きましたが、最後はブロックを打ち破る攻撃で大穴がとり、2セット目も21対10とやや差がついてしまいましたが、大穴エースの強打、軟攻を使い分ける頑張りによって初優勝と全国への切符を手に入れました。新人大会でも各チーム



のチーム力が接近していましたが、ここ数年にない接戦のゲームが続きました。その中で、大穴はここでという時の決めきる力が強かったと思います。全国大会においてもここ3年続いている全国ベスト8以上を是非勝ち取ってほしい思いです。全国大会での健闘を祈ります。

一方男子については、丸山、四街道、法東、スターキッズがシードとなり、二次予選を勝ち上がった印旛、小金原、飯山満南、ミラクルキッズの計8チームが決勝トーナメントに進出し、シードチームの法東は飯山満南のエースを止め切れず敗れましたが、丸山、四街道、スターキッズは初戦をものにして、準決勝は丸山対スターキッズ、四街道対飯山満南の対戦となりました。丸山は左右からの攻撃と時々見せる速攻で危なげなく決勝に進み、もう一方は、レシーブにやや難があるものの、四街道に打ち勝った飯山満南が決勝に進みました。決勝は、



1セット目ジュースに持ち込まれる本当に接戦でしたが、総合力で丸山が制し、2セット目は飯山満南エースの強打を拾って攻撃に結び付け21対9とやや差が



ついた一戦でした。全国大会では、ベスト8以上を目指して頑張ってください。

今年初めての全国大会となる記念すべき大会ですが、参加資格がやや厳しい面もあってか、ミサキ、君津、高根の3チームが参加してリーグ戦が繰広げられました。高根は男女とも人数が足りずに本大会に出場できなかったチームで、君津、ミサキは男子が本大会に参加できずに男女混合の部にエントリーをしてきました。高根は昨年まで男女チームで活躍した選手が残ってそれぞれ核となる選手がいたこともあってか、ミサキとの1セット目を25対23のジュースとなる接戦をものにした後はミサキ、君津を破って全国大会出場権を手に入れました。今年の全国大会には8県で代表チームが送られず41チームによる大会となりますが、高根の健闘を心から祈ります。



最後に写真提供をしていただきました大阪フォト様に感謝の意を表します。